

令和元年度

笠岡市施策評価報告書

令和元年 8 月

笠岡市施策評価委員会



笠岡市の施策評価の実施にあたって、施策評価委員会による評価を行い、その結果を報告書としてとりまとめましたので、報告します。

笠岡市長 小林 嘉文 殿

令和元年8月29日

笠岡市施策評価委員会  
委員長 小林 正和

## 1 笠岡市の行政評価について

笠岡市では、行政サービスに対する市民ニーズが多様化・高度化する中で、行政が進める政策を実現するための施策について、客観的な指標等をもとに行政評価（施策評価）を実施し、事業効果の検証や進行管理を行うことで、施策の見直しや改善につなげています。

行政評価制度を確実に実施することにより、指標実現に向け職員自らが取り組む業務を常に見直し、自らが課題を見つけ、そして改善に繋げ、行政運営全体の質的な向上が大きく促進されます。そして結果を公表して説明責任を果たすことで行政活動の透明性が高まり、市民の満足度の向上へとつながります。

## 2 施策評価について

平成 19 年度から施策評価を導入し、総合計画とも連携した新たな仕組みづくりが進められ、平成 23 年度から、施策評価委員会を設置して施策評価を実施しています。

平成 30 年度から始まった第 7 次笠岡市総合計画では、市民意識調査の満足度・重要度の調査結果を踏まえ、施策ごと、目標ごとに、計画期間中に実現を目指す指標を設定し、P D C A サイクルを確立して適切な進捗管理を行うことにしています。施策評価では、指標を評価の核として、その達成状況から結果にこだわって施策の進捗状況をチェックし、各施策の方針や今後の展開を明確にしていくこととしています。

## 3 施策評価委員会の設置について

### (1) 目的

施策の実施担当部局が行った自己評価に基づき、有識者及び市民の代表者と行政組織の職員により、総合計画の進捗状況を市民の目線で評価していただくことで、施策評価の妥当性・透明性を確保し、信頼性を高めることを目的としています。

## (2) 委員構成

施策評価に対する共通認識を深めるため、外部委員と内部委員の混合で構成します。(合計 8 名)

外部委員：

第 7 次総合計画審議会の会長・委員，創生総合戦略懇談会委員（計 4 名）

内部委員：

監査委員事務局長，財政課主査，政策部長，総務部長（計 8 名）

委員名簿は別紙のとおり

## 4 評価対象施策について

施策評価は，第 7 次笠岡市総合計画の基本計画を構成する 36 施策を評価対象としています。

- 経営戦略： 6 施策
- 活性化戦略： 8 施策
- 未来戦略： 6 施策
- 安定戦略： 12 施策
- 計画推進戦略： 4 施策

## 5 評価の方法等について

### (1) 評価の方法

#### ① 評価の方法

平成 30 年度における取組について，施策実施担当部局が作成した施策評価シート及び関係資料に基づく書面評価と，委員会でのヒアリングを実施しました。

## ②評価の観点

施策評価の仕組みをより信頼性の高いものとするため、

- ・指標の達成状況から見た現状分析が妥当であるか
- ・施策を構成する事業の進行状況の現状認識が妥当であるか
- ・これらを踏まえた改善策が適切に方向付けされているか
- ・総合評価としての認識が妥当であるか

といった視点で評価を行いました。

## ③委員会の開催結果

日 時	内 容
7月29日（月）	施策評価委員会（1日目） 評価方法及び進め方等の確認 施策評価シートヒアリング及び評価
8月1日（木）	施策評価委員会（2日目） 施策評価シートヒアリング及び評価
8月2日（金）	施策評価委員会（3日目） 施策評価シートヒアリング及び評価 これまでの委員会を踏まえての協議・まとめ

## （2）評価の結果

### ①総評

委員会としては、

- A：計画どおり進行している。
- B：おおむね計画どおり進行している。
- C：計画より一部遅れている。
- D：計画より遅れている。

の4段階で評価を行いました。

ヒアリングした施策は15施策中、A評価が0、B評価が12、C評価が3、D評価が0であり、ヒアリングをしなかった施策は書面だけで行い、21施策中、A評価が1、B評価が16、C評価が4、D評価が0となりました。この結果、

全 36 施策中，A 評価が 1，B 評価が 28，C 評価が 7，D 評価が 0 となりました。

(評価結果一覧表は別紙のとおり)

今年度のヒアリング施策の選定は，まず平成 30 年度実施の市民意識調査において重要度が高く，満足度が低いものを中心に主要事業も加味しながら選定しました。さらに日本遺産認定に関係するものや主要事業の 1 番目に挙げている「地場産業の育成」に該当するもの，さらには昨年度の豪雨災害など，近年重要性が増しているもの等も選定しています。

全 36 施策のうち 15 施策で評価をしましたが，新たな施策は 1 つで，残りは昨年に引き続きの施策でした。全体では新たな施策は 4 つとなっています。第 7 次笠岡市総合計画の 1 年目となり、施策評価委員は大幅に替わったのですが，今回も活発な意見が多く出ました。

施策評価シートは，今年度も非常に見やすいものになっています。今年度は第 7 次笠岡市総合計画の 1 年目の評価となりますが，第 6 次笠岡市総合計画の内容をかなり引き継いでいるためと思われます。

またヒアリングでの事業説明はポイントを掴んでの発表で，持ち時間 5 分以内で終わりましたが，その後の質疑は全体 20 分よりも伸びました。その中でも重要施策や取り組み項目が多い施策などは，大幅に伸びて活発な質疑が行われました。

各施策に対する意見等は，それぞれの評価シートに記載のとおりです。

今年度の特徴は，全 36 施策の内，A 評価は昨年と同じ 1 施策だけでしたが，C 評価が昨年の 4 施策から 7 施策と 3 施策も大幅に増加したことが挙げられます。また前年の A 評価から B 評価に下がったのが 1 施策，B 評価から C 評価に下がったのが 2 施策あります。逆に B 評価から A 評価に上がったものは 1 施策ありました。そのため全体での計画の進捗状況は，A 評価が 1 施策，B 評価が 28 施策，C 評価が 7 施策となっています。

今回，最終的な協議で評価の見直しとなったのは，2-2「定住・住宅対策」と 3-3「生涯学習の推進」の 2 施策です。

まず，2-2「定住・住宅対策」では，当初 B 評価が 2 人，C 評価が 4 人となり

C評価となっていました。社会動態の数値等が悪いためと自部署の評価がCであるため、取り組みは頑張っていると思いますが、マイナスに影響したように思えます。しかし議論を重ねた結果、委員の1人がC評価からB評価に変更し、ぎりぎりでもB評価にはなりませんでしたが、評価は上がりました。

次に、3-3「生涯学習の推進」ですが、ヒアリングで説明を受けていなかったため、当初はA評価が2人、B評価が4人でB評価だったのですが、再度協議の中で説明を受けた結果、図書館の方々がかなり頑張っているということ等が分かり、2人の委員がB評価からA評価に変更となりA評価となりました。

また自部署の評価についてですが、A評価をしたのは1部署、C評価は5部署、残りB評価は30部署となっていました。この評価の結果も委員会の決定に若干影響があったかと考えます。特にC評価をした部署は、取り組みに自信を持って上位の評価をつけることができるように、今後も取り組みに頑張りたいと考えています。

## ②改善を望む項目等

### 【評価シート】

#### 1) シートの作成にあたって

今回使用の施策評価シートは、第6次笠岡市総合計画の評価表とそれほど変わらないため、引き続き見やすいものになってきています。さらに、的確に事業内容等が書かれていることなどは、評価できると考えます。

### 【評価の方法】

評価にあたっての課題は、下記の項目が挙げられます。

#### 1) 自部署の評価が低い

自部署の評価をCとした施策は5つもあります。社会動態の影響等でなかなか改善できにくく、どうしても評価を上げにくい面もありますが、どのような取り組みをしたかということをしかりと記述してください。

#### 2) 取組内容の記述があいまい

ヒアリングをしていない施策が21施策と多く、説明を聞けば理解できますが、書面と評価指標だけで評価をしているため、難しかった面も否めませ

ん。今後はヒアリングがなくても評価できるように記述していただくようお願いいたします。

### 3) B評価の固定化

今回も、B評価は36施策の内、28施策と多いようです。昨年度と比べて若干少なくなりましたが、固定化しているようにも見えます。

昨年度から第7次笠岡市総合計画が始まっていますが、今回の点を勘案して、是非とも上位の評価になるように、引き続き施策の充実に積極的に取り組んでいただくよう期待します。

# 施策評価結果

## ■ 経営戦略

1-1	企業誘致の推進と雇用創出		B	
1-2	農業振興		B	
1-3	商工業振興		B	
1-4	水産業振興		B	
1-5	観光振興		B	
1-6	干拓地農業の活性化		B	

## ■ 活性化戦略

2-1	魅力的で快適に暮らせる都市形成			C
2-2	定住・住宅対策			C
2-3	道路ネットワーク及び港湾・漁港の整備		B	
2-4	利用しやすい公共交通システムの構築		B	
2-5	離島振興		B	
2-6	市民参画・協働の推進			C
2-7	多様な交流の促進			C
2-8	広域連携の推進		B	

## ■ 未来戦略

3-1	子ども・子育て環境の整備		B	
3-2	学校教育の充実		B	
3-3	生涯学習の推進	A		
3-4	スポーツの振興		B	
3-5	歴史の継承・文化の振興・カブトガニの保護と活用		B	
3-6	人権・男女共同参画・平和		B	

## ■ 安定戦略

4-1	地域福祉の推進			C
4-2	健康づくり		B	
4-3	医療・救急体制の整備			C
4-4	障がい者・障がい児福祉の充実		B	
4-5	高齢者福祉・介護の充実		B	
4-6	社会保障		B	
4-7	身近な上水道		B	
4-8	健全な下水道運営		B	
4-9	消防体制の整備		B	
4-10	地域防災の推進		B	
4-11	防犯・交通安全の環境づくり		B	
4-12	廃棄物・環境保全		B	

## ■ 計画推進戦略

5-1	情報・プロモーションの推進		B	
5-2	健全な財政運営			C
5-3	財源の確保		B	
5-4	計画管理		B	

計 1 28 7 0

A : 計画どおり進行している  
 B : おおむね計画どおり進行している  
 C : 計画より一部遅れている  
 D : 計画より遅れている

## 令和元年度 施策評価委員名簿

(順不同)

役 職	氏 名	団体・役職等	備考
委員長	小 林 正 和	福山大学 教授 第7次笠岡市総合計画審議会 会長	外部委員
副委員長	三 谷 信 恵	第7次笠岡市総合計画審議会 委員	外部委員
	玉 置 裕 美	第7次笠岡市総合計画審議会 委員	外部委員
	高 森 正 純	笠岡市創生総合戦略懇談会 委員	外部委員
	黒 田 英 樹	笠岡市監査委員事務局 事務局長	
	西 江 瑞 枝	笠岡市総務部財政課 主査	
(行政関係者)	高 橋 文 子	笠岡市政策部長	
(行政関係者)	辻 田 尚 史	笠岡市総務部長	
事 務 局	河 田 博 之	笠岡市政策部企画政策課長	
〃	藤 井 範 章	笠岡市政策部企画政策課課長補佐(兼)係長	
〃	中 嶋 一 貴	笠岡市政策部企画政策課主事	



# 施 策 評 価 シ ー ト

令和元年 7 月

笠 岡 市

# 施策評価シート目次

## 経営戦略 “稼ぐ”

1-1	企業誘致の推進と雇用創出	1
1-2	農業振興	5
1-3	商工業振興	13
1-4	水産業振興	17
1-5	観光振興	22
1-6	干拓地農業の活性化	28

## 活性化戦略 “賑わう”

2-1	魅力的で快適に暮らせる都市形成	33
2-2	定住・住宅対策	39
2-3	道路ネットワーク及び港湾・漁港の整備	46
2-4	利用しやすい公共交通システムの構築	51
2-5	離島振興	54
2-6	市民参画・協働の推進	58
2-7	多様な交流の促進	62
2-8	広域連携の推進	66

## 未来戦略 “輝く”

3-1	子ども・子育て環境の整備	69
3-2	学校教育の充実	77
3-3	生涯学習の推進	88
3-4	スポーツの振興	95
3-5	歴史の継承・文化の振興・カブトガニの保護と活用	100
3-6	人権・男女共同参画・平和	105

## 安定戦略 “安らぐ”

4-1	地域福祉の推進	112
4-2	健康づくり	117
4-3	医療・救急体制の整備	122
4-4	障がい者・障がい児福祉の充実	129
4-5	高齢者福祉・介護の充実	134
4-6	社会保障	138
4-7	身近な上水道	145
4-8	健全な下水道運営	149
4-9	消防体制の整備	154
4-10	地域防災の推進	163
4-11	防犯・交通安全の環境づくり	169
4-12	廃棄物・環境保全	173

## 計画推進戦略

5-1	情報・プロモーションの推進	179
5-2	健全な財政運営	184
5-3	財源の確保	189
5-4	計画管理	194

## 令和元年度 施策評価シート

## &lt;1.施策の概要&gt;

施策No.	1-1	施策名	企業誘致の創出と雇用創出	担当課	商工観光課
戦略の柱	経営戦略 “稼ぐ”				
基本方針	“地元で働けるまち”を目指し、企業誘致等により雇用の場を拡大・確保するとともに、こうした市内の雇用の場と市民とのマッチングを推進します。			関係課	建設管理課 建設事業課 農政水産課 企業誘致推進室

## &lt;2.総合指標&gt;

指標名			目標・実績の推移					
			H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 目標	R3 目標	R7 目標
笠岡港工業用地での新規操業開始企業数	単位	目標			2	2	1	1
	企業/年	実績	1	1	0	—	—	—
		達成率			0.0%	—	—	—
その他の場所での新規操業開始企業数	単位	目標			2	2	2	2
	企業/年	実績	1	0	0	—	—	—
		達成率			0.0%	—	—	—
「企業誘致・雇用の創出」の満足度	単位	目標			△ 39.7	—	△ 34.7	△ 24.7
	%	実績	△ 49.7	—	△ 34.6	—	—	—
		達成率			114.7%	—	—	—

## &lt;3.施策を構成する事務事業の概要&gt;

【達成目標1】	企業誘致の推進
---------	---------

## 達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移				
			H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 目標	R3 目標
笠岡港工業用地での新規操業開始企業数	単位	目標			2	2	1
	企業/年	実績	1	1	0	—	—
		達成率			0.0%	—	—
その他の場所での新規操業開始企業数	単位	目標			2	2	2
	企業/年	実績	1	0	0	—	—
		達成率			0.0%	—	—
事業用地造成促進奨励金支給件数	単位	目標			1	1	1
	件/年	実績	0	1	1	—	—
		達成率			100.0%	—	—

## 達成目標1の事業費

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
直接事業費	15,640	千円	17,617	千円	15,041	千円	13,744	千円
うち一般財源	15,640	千円	16,617	千円	15,041	千円	13,744	千円

1 企業誘致促進事業												
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)			意図(どのようにしたいのか)									
企業			市民の働く場所を確保するために、市内の適度に優良企業を誘致する。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致を積極的に推進する。</li> <li>・企業誘致促進のための助成制度、優遇措置等を充実するとともに、企業誘致体制の強化を図る。</li> </ul>						
平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			
<b>取組内容</b> ●県営笠岡港(港町地区)への優良企業誘致 企業誘致データによる効率的企業誘致活動の実施 <企業誘致訪問件数:3社> ●民間活力を活用した工業団地造成 新設土地造成促進奨励金等のPRと活用 ●優遇制度のPR 笠岡市のホームページへの掲載とパンフレットを活用したPR <企業立地促進奨励金交付件数1件>			⇒ 工業用地適地調査業務委託の実施			⇒			⇒			
			⇒			⇒			⇒			
			⇒			⇒ 笠岡市企業立地ガイドの作成			⇒			
						<企業立地促進奨励金交付件数:1件>			<企業立地促進奨励金交付件数:0件>			
直接事業費	決算額	3,155	千円	決算額	2,538	千円	決算額	1,428	千円	決算額	175	千円
	うち一般財源	3,155	千円	うち一般財源	1,538	千円	うち一般財源	1,428	千円	うち一般財源	175	千円

2 創 新設工場等設置奨励事業												
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)			意図(どのようにしたいのか)									
企業			市民の働く場所を確保するため、市内の適度に優良企業を誘致する。			企業誘致をした後の企業に対する経営負担を軽減する。						
平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			
<b>取組内容</b> ●民間活力を活用した工業団地の造成 新設工場等の奨励金のPR ●優遇制度のPR 笠岡市のホームページに掲載とパンフレットによるPR活動 <補助金交付件数:4件>			⇒			⇒			⇒			
			⇒			⇒			⇒			
			<補助金交付件数:4件>			<補助金交付件数:3件>			<補助金交付件数:5件>			
直接事業費	決算額	11,783	千円	決算額	14,374	千円	決算額	12,908	千円	決算額	12,864	千円
	うち一般財源	11,783	千円	うち一般財源	14,374	千円	うち一般財源	12,908	千円	うち一般財源	12,864	千円

3 創 ☆企業・雇用情報の提供システム構築事業												
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)			意図(どのようにしたいのか)									
市内に住居及び就職先を探している人、企業進出を検討している企業			市内企業の情報を公開することで、①移住・定住を希望する利用者の利便性が向上し、定着人口の増につながる。②企業の活性化、企業誘致につながる。			市内の企業の企業情報、雇用情報を公開する。						
平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			
<b>取組内容</b> 地域企業ポータルサイト・かさおか夢ワークの運用			⇒			⇒			⇒			
			⇒			⇒			⇒			
			市内事業所の新規登録依頼									
直接事業費	決算額	702	千円	決算額	705	千円	決算額	705	千円	決算額	705	千円
	うち一般財源	702	千円	うち一般財源	705	千円	うち一般財源	705	千円	うち一般財源	705	千円

## 【達成目標2】 地元での就業機会の拡大

## 達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移				
			H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 目標	R3 目標
笠岡公共職業安定所管内の年間有効求人倍率	単位	目標			1.4以上	1.4以上	1.4以上
	倍	実績 達成率	1.58	1.51	1.56 111.4%	—	—
高校生長期インターンシップ延べ参加者数	単位	目標			39	46	60
	人	実績 達成率	27	32	42 107.7%	—	—

## 達成目標2の事業費

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
直接事業費	51,603	千円	56,871	千円	87,376	千円	45,599	千円
うち一般財源	43,953	千円	45,171	千円	47,698	千円	45,440	千円

## 4 勤労者福祉事業

事務事業の目的		事務事業の内容										
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)											
市内勤労者	社会環境の整備及び福祉の向上	余暇活動の場である労働福祉会館、勤労青少年ホーム、サンライフ笠岡でのスポーツ・レクリエーション、文化教養サークル活動の育成、充実を図る。勤労者の生活の安定と福祉の増進を図るため、笠岡市勤労者融資貸付事業を実施する。										
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度							
取組内容		●3館の利用の促進 スポーツやレクリエーション、文化教養サークル活動のPR活動を行う サンライフ笠岡空調改修事業	⇒ サンライフ笠岡空調改修事業	⇒ サンライフ笠岡エレベーター設置 工事及び便所改修工事	⇒ バグース備品購入							
直接事業費	決算額	51,384	千円	決算額	56,588	千円	決算額	87,217	千円	決算額	45,276	千円
	うち一般財源	43,734	千円	うち一般財源	44,888	千円	うち一般財源	47,617	千円	うち一般財源	45,276	千円

## 5 モノづくり企業高校生長期インターンシップ事業

事務事業の目的		事務事業の内容										
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)											
市内の高校生	高校生の就業体験を行うことで、就業に関する理解を深め、就職後の職業への適応力を高める。また、地域産業の担い手の人材育成を図る。	笠岡市内の高等学校に在学する2年生のうち就職を希望している者を対象に、新規高等学校卒業生の採用予定のある笠岡市内に就業場所を有する事業所へ7月下旬から8月下旬のうち、原則として5日間就業体験を行う。										
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度							
取組内容		・受入事業所数 6社 ・インターンシップ学生数 9名	・受入事業所数 4社 ・インターンシップ学生数 12名	・受入事業所数 3社 ・インターンシップ学生数 5名	・受入事業所数 5社 ・インターンシップ学生数 10名							
直接事業費	決算額	219	千円	決算額	283	千円	決算額	159	千円	決算額	323	千円
	うち一般財源	219	千円	うち一般財源	283	千円	うち一般財源	81	千円	うち一般財源	164	千円

## &lt;4.施策の直接事業費(3の合計)&gt;

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
直接事業費	67,243	千円	74,488	千円	102,417	千円	59,343	千円
うち一般財源	59,593	千円	61,788	千円	62,739	千円	59,184	千円

## &lt;5.前年度の委員コメントに対する対応・回答&gt;

委員コメント	対応・回答
・よくなされています。今後も企業誘致を期待しています。	→

## &lt;6.平成30年度の振り返り&gt;(担当部署自己評価)

施策の 進捗度 A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。	A
--	---

## &lt;7.未達成の指標への対応策&gt;

未達成 指標 への 対応策	景気の拡大の中、有効求人倍率は高い推移を保っている反面、企業は人手不足に陥っている。特に中小企業の人手不足は顕著で、新卒で高校生を採用しようとする意欲はあっても、大手志向の傾向にある高校生は地元企業への就職希望は少ない。市内には魅力のある中小企業があるが、知られていないため、企業紹介を行ったり、高校生長期インターンシップを工業高校だけでなく、商業高校や龍谷高校へも参加を呼びかけ、より多くの高校生が参加することで、高校生の市内就職につなげていきたい。
------------------------	--

## &lt;8.委員による評価結果&gt;

総合 評価	B	(参考) 昨年度の評価結果	A
A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。			
コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・港町地区のほとんどの土地に工場ができているのを確認しました。サラの施設も素晴らしかったです。パートを含めると多くの雇用が発生しているようなので、素晴らしいと思いました。</li> <li>・指標がないまま総合評価Aは難しいと感じました。今年積み重ねられた実績が来年の数値に反映されることを期待しています。また、サラさんを企業誘致できたことは素晴らしいことですが、今後も笠岡で仕事をしたい若者が住み続けられるように幅広い雇用創出を願います。笠岡公共職業安定所管内の年間有効求人倍率は目標数値の見直しが必要に思われました。</li> <li>・雇用創出の実績数値が上がってくるのは数年後になりますが、今後も積極的に取り組んで下さい。</li> <li>・目標達成へ向けてよく取り組まれている。引き続き、企業誘致及び笠岡市内での就職機会の拡大を図るよう尽力されたい。</li> <li>・昨年度はA評価、部署もA評価となっていますが、結果としてB評価となりました。頑張っているとは思いますが、新規操業開始企業数等の指標が悪かったのが関係していると思います。是非とも新規操業の企業の増加に頑張ってくださいと思います。</li> <li>・企業誘致は順調に進み、新笠岡港の工業用地も全て売れたようで喜ばしいことではあるが、進出した来た企業の雇用条件等が都市部へ進学した若者をUターンして笠岡市に帰ってきて就職したいと思えるようなものなのか？ たとえ200人強の雇用があると言われても、野菜の収穫時のみに雇用されるパート従業員であるのならば、若者のUターンは期待薄だと思われ、笠岡市公共職業安定所管内の有効求人倍率が高いと言っても、働こうと思えない企業からの求人であるならばミスマッチによるもので、素直に喜べないと思う。</li> </ul>		

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

施策 No.	1-2	施策名	農業振興	担当課	農政水産課
大項目	活気あるまちづくり				
基本方針	笠岡市の特色や強みを活かした第1次産業の活性化に向けて、農業・畜産業の振興に関わる多様な支援を行うとともに、新たな担い手の確保、農業用地・施設の適正な維持管理、鳥獣被害対策等に取り組みます。			関係課	定住促進センター 地域福祉課 建設管理課 建設事業課 商工観光課

<2.総合指標>

指標名			目標・実績の推移					
			H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 目標	R3 目標	R7 目標
市内農業産出額(農水省市町村農業産出額推計)	単位	目標			619	659	669	709
	千万円/年	実績	599	602	未公表	—	—	—
		達成率			#VALUE!	—	—	—
「農林業の振興」の満足度(市民意識調査)	単位	目標			△ 18.0	—	△ 16.0	△ 14.0
	%	実績	△ 20.0	—	△ 25.3	—	—	—
		達成率			71.1%	—	—	—

<3.施策を構成する事務事業の概要>

【達成目標1】	地域の特色を活かした農業・畜産業の活性化
---------	----------------------

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移				
			H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 目標	R3 目標
市内農作物の産出額(野菜・果実) (農水省市町村農業産出額推計)	単位	目標			129	434	444
	千万円/年	実績	119	136	未公表	—	—
		達成率			#VALUE!	—	—
市内農作物の産出額(花き) (農水省市町村農業産出額推計)	単位	目標			19	19	19
	千万円/年	実績	19	17	未公表	—	—
		達成率			#VALUE!	—	—
市内農作物の産出額(米) (農水省市町村農業産出額推計)	単位	目標			42	43	45
	千万円/年	実績	40	51	未公表	—	—
		達成率			#VALUE!	—	—
牛の飼養頭数(笠岡市内全体/乳用牛・肉用牛数)	単位	目標			8,100	9,300	9,500
	頭	実績	6,759	6,861	7,785	—	—
		達成率			96.1%	—	—
採卵鶏の飼養羽数	単位	目標			664,000	670,000	670,000
	羽	実績	663,852	665,126	635,543	—	—
		達成率			95.7%	—	—
かさおかブランド「農林業部門」認定件数	単位	目標			1	1	1
	件/年	実績	0	3	3	—	—
		達成率			300.0%	—	—

達成目標1の事業費

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
直接事業費	37,502	千円	24,974	千円	1,363,597	千円	880,168	千円
うち一般財源	23,586	千円	23,664	千円	26,549	千円	68,509	千円

1 創 道の駅整備・運営事業													
事務事業の目的						事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
国道2号笠岡バイパス利用者及び道の駅利用者		道の駅の目的である休憩・道路情報の提供だけでなく、地元、笠岡市の新鮮な野菜・魚介類等の販売、地元食材を使った食事の提供、観光情報など、笠岡の良さを広範囲にPRできる一大情報発信基地とする。				①地域振興施設として道の駅を運営する。 ②道の駅周囲の農地を利用して景観作物を咲かせ、また、農業体験施設等でイベントなどを開催する。 ③道の駅の利用者を二次的に笠岡市内の施設及び飲食店等へ誘客し、経済効果を図る。							
		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度					
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>○道の駅整備</li> <li>創・景観作物の作付</li> <li>・イベントの実施</li> <li>・新聞折込チラシの配布</li> <li>・施設の整備・管理</li> <li>・ツアーの実施</li> </ul>		⇒		⇒		⇒					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅西側の圃場への展望台通路の設置</li> <li>・道の駅笠岡ベイファーム外構修繕工事</li> <li>・景観作物の栽培管理の委託</li> <li>・景観作物畑排水溝設置工事</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅西側の圃場への展望台通路の整備</li> <li>・景観作物畑冠水対策工事</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅臨時駐車場場内歩行者通路(北側)修繕工事</li> <li>・自走式散水機等購入</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観作物展望台通路設置・整備工事</li> <li>⇒</li> <li>・道の駅代替駐車場舗装工事</li> </ul>					
直接事業費		決算額	33,847	千円	決算額	21,886	千円	決算額	41,678	千円	決算額	73,334	千円
		うち一般財源	19,931	千円	うち一般財源	21,176	千円	うち一般財源	26,117	千円	うち一般財源	68,039	千円

2 畜産業振興事業													
事務事業の目的						事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
干拓地内の畜産農家		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な環境巡回調査を行い、適切な糞尿処理や水質浄化を指導する。</li> <li>・干拓地臭気対策チームによる検討会を開催し、干拓地内の糞尿や堆肥による悪臭対策を検討する。</li> <li>・パーラー排水などの畜産排水について、現状把握と排水対策を検討し、浄化施設の設置に向けて検討を行う。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境巡回指導</li> <li>・干拓地内における悪臭対策の検討</li> <li>・干拓地内における畜産排水浄化処理施設設置の検討</li> <li>・畜産クラスター事業の実施</li> </ul>							
		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度					
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境巡回指導</li> <li>・県と合同による環境巡回指導の実施。</li> <li>創・干拓地臭気対策チームによる悪臭対策の具体化検討及び「臭気対策研究会(仮称)」の設置にかかる協議</li> <li>●粗飼料基地有効活用のための地元説明会</li> <li>・粗飼料だけでなく農作物栽培も可能とした干拓地農地の有償貸付について、地元関係者への説明会を実施。</li> <li>●排水浄化施設設置の推進施設設置のための方策を検討。</li> <li>●新造共同堆肥舎の運用開始</li> <li>・新設した堆肥舎を有効運用し、完熟した良質な堆肥の生産を促進するとともに、併せて臭気対策も図る。</li> <li>●笠岡市酪農・肉用牛近代化計画策定(H27~H37)にかかる畜産農家ヒアリング及び県との協議を進めた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒</li> <li>⇒</li> <li>創・悪臭対策の具体化検討及び「臭気対策研究会」の設置にかかる協議。</li> <li>●笠干資源循環型農業推進事業</li> <li>・干拓地の堆肥生産実態調査及び自給飼料作付体系の検討・実証と野菜等栽培の実証。</li> <li>●粗飼料基地の貸付(新規に144haの公募貸付を実施)</li> <li>●畜産クラスター(養鶏・畜産)事業組織の立ち上げ及び事業実施計画の策定</li> <li>⇒</li> <li>●新造共同堆肥舎の堆肥を有効運用し、完熟した良質な堆肥の生産を促進するとともに、併せて臭気対策も図る。</li> <li>●笠岡市酪農・肉用牛近代化計画の策定(H27~H37)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒</li> <li>⇒</li> <li>⇒</li> <li>⇒</li> <li>⇒</li> <li>⇒</li> <li>●臭気低減ができる堆肥に添加する資材や消臭材などの検討を行い、臭気対策も図る。</li> <li>⇒</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒</li> <li>⇒</li> <li>⇒</li> <li>⇒</li> <li>⇒</li> <li>⇒</li> <li>●悪臭対策に向けた環境改善検討会の設置</li> <li>⇒</li> <li>⇒</li> <li>⇒</li> <li>●畜産クラスター事業による、牛舎及び鶏舎の規模拡大。</li> <li>⇒</li> <li>⇒</li> <li>●干拓地の各畜産農家が臭気低減資材を使用することにより、地域一体で臭気低減を図る。</li> <li>⇒</li> </ul>					
直接事業費		決算額	3,655	千円	決算額	3,088	千円	決算額	1,321,919	千円	決算額	806,834	千円
		うち一般財源	3,655	千円	うち一般財源	2,488	千円	うち一般財源	432	千円	うち一般財源	470	千円

## 【達成目標2】 農業者の担い手・後継者の確保と育成

## 達成目標2の指標

指標名	目標・実績の推移					
	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 目標	R3 目標	
新規認定農業者数	単位	目標		98	99	100
	人	実績	96	94	96	—
		達成率		98.0%	—	—

## 達成目標2の事業費

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
直接 事業費	50,156	千円	99,829	千円	34,755	千円	395,782	千円
うち 一般財源	5,319	千円	6,546	千円	13,418	千円	97,909	千円

## 3 農業振興事業

事務事業の目的		事務事業の内容							
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)								
農業者新規就農希望者	農業者の規模拡大、経営の効率化を図る。 新規就農者により農業人口を増加させる。	認定農業者制度を活用した農家の育成 干拓地を生かした大規模農業の推進							
	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度			
取組 内容	○農産物のブランド化 ○認定農業者認定・支援事業 ○担い手確保・育成・支援事業 ○新規就農者支援事業 ●農道離着陸場の多面的利用 延べ回数 257回	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 延べ日数 250日 ・産地パワーアップ事業 ・農業のデザイン化プロジェクト		⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 延べ日数 244日 ・「食と農村」交流推進事業		⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 延べ日数 224日		⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・「食と農村」交流推進事業 ・被災者向け経営体育成支援事業	
直接 事業費	決算額 50,156 千円	決算額 99,829 千円	決算額 34,755 千円	決算額 395,782 千円	うち 一般財源 5,319 千円	うち 一般財源 6,546 千円	うち 一般財源 13,418 千円	うち 一般財源 97,909 千円	

**【達成目標3】 農業用地・施設の維持管理**

達成目標3の指標			目標・実績の推移				
			H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 目標	R3 目標
市内耕作放棄地面積	単位	目標			1,778	1,768	1,748
	ha	実績	1,780	1,711	1,695	—	—
		達成率			104.9%	—	—
中山間地域等直接支払制度 協定締結面積	単位	目標			19.6	19.7	20.0
	ha	実績	19.1	19.6	19.5	—	—
		達成率			99.5%	—	—
多面的機能支払交付金事業を活用する 認定農用地面積	単位	目標			756.7	756.7	756.7
	ha	実績	678.4	718.9	770.8	—	—
		達成率			101.9%	—	—

達成目標3の事業費

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
直接 事業費	217,064	千円	322,761	千円	234,396	千円	180,268	千円
うち 一般財源	94,276	千円	141,860	千円	126,177	千円	95,559	千円

<b>4 農業用施設維持管理業務</b>												
事務事業の目的					事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
農業用施設利用者		農業用施設利用者が安全・安心して利用できるようにする。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産業施設管理事業</li> <li>・農林水産業施設維持事業</li> <li>・農林水産施設(単独)災害復旧事業</li> </ul>							
		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度				
取組 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水機場施設の老朽箇所の修理(寺間・入江・北川第2)</li> <li>・ため池ハザードマップ作成(奥山池)</li> </ul>		⇒		⇒		<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水機場施設の老朽箇所の修理(寺間・入江・北川第1・北川第2・白石島)</li> <li>●北川地区事業計画概要作成(北川第1)</li> </ul>					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ため池ハザードマップ作成(岩神池)</li> </ul>									
直接 事業費	決算額	135,176	千円	決算額	161,767	千円	決算額	160,798	千円	決算額	108,251	千円
	うち 一般財源	81,303	千円	うち 一般財源	114,839	千円	うち 一般財源	113,866	千円	うち 一般財源	80,144	千円

<b>5 農業振興地域整備関連業務</b>												
事務事業の目的					事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
市民		農業振興地域整備計画を見直し、都市的土地需要との土地利用調整を行う。			農業振興地域の整備に関する法律(昭和44年法律第58号)に基づき、国・県及び市町村が一体となって農業振興を図るべき地域の整備や保全を図る。							
		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度				
取組 内容	○農業振興地域整備事業 ・農業振興地域整備計画見直しのための基礎調査実施		⇒		⇒		⇒					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業振興地域整備計画見直しのための基礎調査を業務委託</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業振興地域整備計画見直し業務</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業振興地域整備計画見直し業務</li> <li>・農業振興地域農用地区域図面作成業務</li> </ul>					
直接 事業費	決算額	183	千円	決算額	4,286	千円	決算額	242	千円	決算額	1,865	千円
	うち 一般財源	183	千円	うち 一般財源	4,286	千円	うち 一般財源	242	千円	うち 一般財源	1,865	千円

6		農業委員会業務							
事務事業の目的		事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)							
市民		農業生産の基盤となる優良農地の保全、有効利用するための取り組み、耕作放棄地、遊休農地の解消		農業委員会の開催(12回)。農地法に基づく農地の利用状況等調査等。農地法関連業務。広報紙等による啓発。農業者年金制度の普及啓発。					
平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度			
取組内容		⇒		⇒		⇒			
●農地法の厳格な運用 ●農地利用意向調査の実施		●農地利用意向調査の実施		●農地利用状況調査の実施		●農地利用状況調査の実施			
直接事業費		決算額		決算額		決算額		決算額	
うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
12,332		12,504		14,000		12,300		千円	
8,570		7,992		6,740		7,743		千円	

7		耕作放棄地解消事業							
事務事業の目的		事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)							
農地所有者		農業者の高齢化・後継者不足により耕作放棄地が増えつつある中、担い手への農地集積を進め、農地の荒廃化を防ぐ。		中間管理機構を通じた利用権の設定等により、担い手への農地の集積・集約化を促進する。ほ場整備等、集積した田を整備することにより、大型農業機械の利用促進を図る。					
平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度			
取組内容		⇒		⇒		⇒			
○耕作放棄地解消事業 ・中間管理事業						●耕作条件改善事業			
直接事業費		決算額		決算額		決算額		決算額	
うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
709		1,340		3,062		2,039		千円	
9		140		6		0		千円	

8		農業用施設新設改良事業							
事務事業の目的		事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)							
農業従事者及び関係者		農産物生産の向上と安定化及び農地の保全		ため池、井堰、用・排水路の整備及び農道の新設改良を行うための計画、調査、設計、積算、工事監督を行う。					
平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度			
取組内容		⇒		⇒		⇒			
●農業用施設改良事業 ・非補助農道改良事業  ・非補助かんがい排水事業 ・単市土地改良事業 ・団体営かんがい排水		⇒ ⇒ ・非補助農道舗装事業 ⇒ ⇒ ⇒ ・小規模かんがい排水(尾坂池導水管)		⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・小規模かんがい排水(大河井堰改修)		⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・小規模かんがい排水(辻南揚水機場)			
直接事業費		決算額		決算額		決算額		決算額	
うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源		うち一般財源	
68,407		142,625		56,046		55,667		千円	
4,054		14,364		5,075		5,661		千円	

9 創 バイオマスタウン推進事業													
事務事業の目的						事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
笠岡湾干拓地 営農者 市民		笠岡湾干拓地の特性を生かしたバイオマス資源の利活用を図りながら、地域農業の活性化を目指すとともに、環境にやさしい農業を推進し、持続可能な循環型社会の形成に資する。				笠岡湾干拓地域バイオマスタウン構想のもと、バイオマス資源の利活用について、産学官による協議を行い、牛ふん堆肥の利活用などに取り組む。							
		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度					
取組内容		・BDFの干拓地内の利用 ・添加物牛ふん堆肥による野菜栽培実験 ・バイオマス利活用推進協議会活動		・牛ふん堆肥の利活用の検討 ⇒		⇒ ⇒ (畜産クラスター協議会へ移管)		⇒ ⇒					
直接事業費		決算額	111	千円	決算額	124	千円	決算額	146	千円	決算額	0	千円
		うち一般財源	11	千円	うち一般財源	124	千円	うち一般財源	146	千円	うち一般財源	0	千円

10 創 笠岡湾干拓地水質浄化対策事業													
事務事業の目的						事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
笠岡湾干拓地 営農者 市民		笠岡湾干拓地の水環境を改善する取組を行うとともに、環境にやさしい農業を推進し、持続可能な循環型社会の形成に資する。				笠岡湾干拓地及び周辺地区の農業関係者、市民及び行政が連携して環境負荷の低減に努め、干拓地の水質保全対策の推進を図る。							
		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度					
取組内容		・負荷削減活動の推進 ・耕畜連携による堆肥の適正処理 ・茂平地区下水道の整備		⇒ ⇒ ⇒		⇒ ⇒ ⇒		⇒ ⇒ ⇒					
直接事業費		決算額	146	千円	決算額	115	千円	決算額	102	千円	決算額	146	千円
		うち一般財源	146	千円	うち一般財源	115	千円	うち一般財源	102	千円	うち一般財源	146	千円

**【達成目標4】鳥獣被害の減少と森林整備の推進**

達成目標4の指標

指標名			目標・実績の推移				
			H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 目標	R3 目標
防護柵補助件数	単位	目標			30	30	30
	件/年	実績	28	51	106	—	—
		達成率			353.3%	—	—
駆除班員数	単位	目標			26	26	26
	人	実績	26	23	23	—	—
		達成率			88.5%	—	—

達成目標4の事業費

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
直接事業費	11,158	千円	8,464	千円	10,176	千円	9,500	千円
うち一般財源	6,706	千円	4,623	千円	5,475	千円	5,699	千円

11	森林保全事業											
事務事業の目的			事務事業の内容									
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
森林所有者及び周辺住民 農林業者等		松くい虫による被害防止とともに、森林資源の保全と国土の保全を図る。 農作物の被害の防止及び生活環境の改善。		・ヘリコプターによる薬剤の空中散布及び地上散布。また、空中・地上散布区域周辺の伐倒駆除及び道路沿いの危険木処理。 ・有害鳥獣の駆除。								
取組内容	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度					
	●松くい虫被害防止 ・薬剤の空中散布及び地上散布を行う。 空中散布174ha 地上散布3ha ●有害獣被害防止対策事業 ・有害獣による農作物の被害防止のための柵等の設置に補助金を支給する。 補助件数11件 合計補助金額286,668円		⇒ ・薬剤の空中散布及び地上散布を行う。 空中散布174ha 地上散布3ha ⇒ ・有害獣による農作物の被害防止のための柵等の設置に補助金を支給する。 補助件数28件 合計補助金額606,213円 ●笠岡市森林整備計画 ・国の制度改正に伴い計画の一部を変更。		⇒ ・薬剤の空中散布を行う。 空中散布174ha ⇒ ・有害獣による農作物の被害防止のための柵等の設置に補助金を支給する。 補助件数51件 合計補助金額707,098円 ⇒		⇒ ・薬剤の空中散布を行う。 空中散布174ha ⇒ ・有害獣による農作物の被害防止のための柵等の設置に補助金を支給する。 補助件数106件 合計補助金額1,787,270円					
直接事業費	決算額	11,158	千円	決算額	8,464	千円	決算額	10,176	千円	決算額	9,500	千円
	うち一般財源	6,706	千円	うち一般財源	4,623	千円	うち一般財源	5,475	千円	うち一般財源	5,699	千円

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
直接事業費	315,880	千円	456,028	千円	1,642,924	千円	1,465,718	千円
うち一般財源	129,887	千円	176,693	千円	171,619	千円	267,676	千円

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

委員コメント	対応・回答
・干拓地の悪臭が近年又ひどくなっています。臭気低減一層努力してください。	→ 干拓地の悪臭の原因は、いろいろあると考えますが、その中で畜産経営の中で発生するものが大きな要因と考えています。その対策として、今年度から干拓地内にある各牧場の現状把握や臭気調査等を実施し、牧場内から発生する臭気抑制の対策を検討、実施し、臭気低減に努めます。

## &lt;6.平成30年度の振り返り&gt;(担当部署自己評価)

施策の 進捗度	A: 施策を構成する事業が順調に進行している。	B
	B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。	
	C: 施策を構成する事業が一部遅れている。	
	D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。	

## &lt;7.未達成の指標への対応策&gt;

未達成 指標 への 対応策	認定農業者については、高齢化が進み更新しない農業者が増えつつある。集落営農の組織作りや法人化を進め、認定農業者の新規発掘を図りたい。
------------------------	--

## &lt;8.委員による評価結果&gt;

総合 評価	A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果	B
コメント	<p>・耕作放棄地に対する対策が気になりました。手放しても良い、貸しても良いという方は多いと思いますが、どうでしょうか。(道の駅のひまわりの連作障害はないようだと言われました。今年のはひまわりは、とても健康な状態で育っていました。今後も大丈夫とおっしゃっておられました)</p> <p>・総合指標と達成目標1の指標が未公表が多く施策評価が難しい。農家さんの自主性に任せ、後方支援の活動も大切ですが“農福”など今の社会動向を踏まえ、積極的な笠岡の農業に関するイベントや広報活動など、今後も期待します。</p> <p>・農業を続けていくのも色々課題がありますので、農業委員と協力して行政にできることを提案してあげてください。</p> <p>・臭気問題は未だ改善が見られず、実効性のある対応による改善を進めてください。</p> <p>・発表されていない実績があるが、悪臭対策、鳥獣被害対策等、特に市民の関心の高いものは、達成率に満足せず、積極的に進められたい。</p> <p>・結果としてB評価となりました。これは指標が未公表になっていることがあるかと思いますが。また第7次総合計画の初年度としては指標の目標値が高かったのではないかと思います。</p> <p>・大干拓地を有する笠岡市において、営農が盛んであることは非常に喜ばしいことである。大規模な自動搾乳施設等の大型投資も行われているので、干拓地だけでとれた牛乳のブランド(仮称)「おいしい! べいふあ〜む牛乳」が店頭に並ぶようになり笠岡市の知名度アップに繋がればなあと思う。</p> <p>一方で、悪臭対策にも注力していただきたい。</p>			

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

施策 No.	1-3	施策名	商工業振興	担当課	商工観光課
戦略の柱	経営戦略 “稼ぐ”				
基本方針	行政、市民、事業者及び笠岡商工会議所等の協働による商工業の振興を進めるとともに、既存の事業者・新規創業者の自助努力及び創意工夫を支援します。			関係課	公表されていない参考値として市町村民税課税対象所得(総務省統計)を入れています。

<2.総合指標>

指標名			目標・実績の推移					
			H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 目標	R3 目標	R7 目標
総人口1人当たりの市民所得	単位	目標			2,444	2,454	2,474	2,514
	千円	実績	2,699	2,730	2,708	—	—	—
		達成率			110.8%	—	—	—
事業所数(経済センサス統計調査)	単位	目標			2,145	—	2,153	2,145
	事業所	実績	1,973	—	—	—	—	—
		達成率			#VALUE!	—	—	—
従業員数(経済センサス統計調査)	単位	目標			21,646	—	21,696	21,796
	人	実績	18,471	—	—	—	—	—
		達成率			#VALUE!	—	—	—
従業員4人以上の製造業の事業所数(工業統計調査)	単位	目標			124	125	127	131
	事業所	実績	116	—	—	—	—	—
		達成率			#VALUE!	—	—	—
従業員4人以上の製造業の従業員数(工業統計調査)	単位	目標			5,258	5,262	5,270	5,286
	人	実績	5,082	—	—	—	—	—
		達成率			#VALUE!	—	—	—

<3.施策を構成する事務事業の概要>

【達成目標1】	生産・販売力の強化
---------	-----------

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移				
			H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 目標	R3 目標
製造品出荷額等(工業統計調査)	単位	目標			199,149	201,140	205,183
	百万円	実績	157,270	—	—	—	—
		達成率			#VALUE!	—	—
粗付加価値額(工業統計調査)	単位	目標			59,745	60,342	61,554
	百万円	実績	60,563	—	—	—	—
		達成率			#VALUE!	—	—
年間商品販売額(商業統計調査)	単位	目標			78,978	—	—
	百万円	実績	76,323	—	—	—	—
		達成率			#VALUE!	—	—
かさおかブランド「産業・技術部門」認定件数	単位	目標			2	4	2
	件/年	実績	1	0	3	—	—
		達成率			150.0%	—	—

達成目標1の事業費

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	金額	千円	金額	千円	金額	千円	金額	千円
直接事業費	6,904	千円	8,340	千円	8,174	千円	6,794	千円
うち一般財源	6,904	千円	8,340	千円	8,174	千円	6,794	千円

1 商工業振興事業		事務事業の目的				事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
市内企業・商店		企業・商店が活発に活動・発展することにより、市内環境や市民生活を活性化する。				・工業振興において、経営の近代化や情報通信技術の活用等による円滑な発展に努める。 ・中小企業の経営の安定化を図るため、小規模企業対策資金保証融資制度の充実を図る。						
		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度				
取組内容	● 笠岡市小規模事業対策資金保証融資制度	⇒		⇒		⇒		⇒				
	● 中小企業信用保険法に基づく認定	⇒		⇒		⇒		⇒				
	● 産業活動の支援	⇒		⇒		⇒		⇒				
	● 新たな産業づくりへの支援	⇒		⇒		⇒		⇒				
	● 創業・小規模事業者経営改善資金利子補助金	⇒		⇒		⇒		⇒				
	<補助金交付件数: 68件, 新規36件, 継続32件>	<補助金交付件数: 96件, 新規29件, 継続67件>		<補助金交付件数: 109件, 新規24件, 継続85件>		<補助金交付件数: 111件, 新規35件, 継続76件>						
	中小企業支資金融資制度	⇒		⇒		⇒		⇒				
	<融資利用件数: 48件>	<融資利用件数: 52件>		<融資利用件数: 60件>		<融資利用件数: 50件>						
		三菱関連中小企業特別支援対策事業										
		<融資利用件数: 1件>		<融資利用件数: 1件>								
		<保証料補給金: 1件>		<保証料補給金: 1件>								
		<保証料補助金: 1件>										
直接事業費	決算額	6,904	千円	決算額	8,340	千円	決算額	8,174	千円	決算額	6,794	千円
	うち一般財源	6,904	千円	うち一般財源	8,340	千円	うち一般財源	8,174	千円	うち一般財源	6,794	千円

## 【達成目標2】 創業・事業承継の支援

## 達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移				
			H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 目標	R3 目標
起業支援事業補助金の新規交付件数	単位	目標			8	8	8
	件/年	実績	11	10	3	—	—
		達成率			37.5%	—	—
中心市街地空き店舗利用促進補助金交付件数	単位	目標			1	1	1
	件/年	実績	—	1	3	—	—
		達成率			300.0%	—	—
事業承継支援補助金交付件数	単位	目標			2	2	2
	件/年	実績	—	0	1	—	—
		達成率			50.0%	—	—
笠岡商工会議所青年部の会員数	単位	目標			71	72	74
	人	実績	68	74	66	—	—
		達成率			93.0%	—	—

## 達成目標2の事業費

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
直接事業費	23,503	千円	23,291	千円	25,259	千円	14,441	千円
うち一般財源	8,181	千円	12,220	千円	20,075	千円	4,846	千円

2		商店街振興事業										
事務事業の目的				事務事業の内容								
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
市内商店・商店街		市内商店・商店街の発展を支援することで、市内環境や市民生活の活性化を図る。		市内商店・商店街の振興を図る。								
平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度						
取組内容		⇒ ⇒		⇒ ⇒ 中心市街地空き店舗登録件数: 6件 空き店舗補助金申請件数: 1件		⇒ ⇒ 中心市街地空き店舗登録件数: 8件 空き店舗補助金申請件数: 2件 (新規)						
直接 事業費	決算額	8,999	千円	決算額	8,709	千円	決算額	10,008	千円	決算額	7,079	千円
	うち 一般財源	6,270	千円	うち 一般財源	6,341	千円	うち 一般財源	5,857	千円	うち 一般財源	3,414	千円

3		創 起業支援										
事務事業の目的				事務事業の内容								
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
新規創業者		新規創業者に対して、市内産業の振興、雇用の促進及び定住を勧める。		これから市内で起業する人を対象に、起業にかかった経費の一部を事後的に補助する。新規起業者を支援することで市内産業の振興・雇用創出を図る。								
平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度						
取組内容		創業サポートセンターかさおか創業サロンの開設 <補助金交付件数: 新規7件, 継続 4件> <サロン来客数: 146人>		創業サポートセンターかさおか創業サロンの運営補助 <補助金交付件数: 新規11件, 継続 5件> <サロン来客数: 328人>		⇒ <補助金交付件数: 新規10件, 継続9件> <サロン来客数: 490人>		⇒ <補助金交付件数: 新規3件, 継続4件> <サロン来客数: 310人>				
直接 事業費	決算額	14,104	千円	決算額	14,182	千円	決算額	14,851	千円	決算額	6,962	千円
	うち 一般財源	1,881	千円	うち 一般財源	5,879	千円	うち 一般財源	13,818	千円	うち 一般財源	1,032	千円

4		創 創業塾支援事業										
事務事業の目的				事務事業の内容								
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
笠岡商工会議所		笠岡商工会議所が主催する創業塾を笠岡市が支援することで、より内容の充実した創業セミナーを開催することが可能となる。その結果として、起業予定者の起業の実現性を増大させ実際の起業へとつながることを目的とする。		笠岡商工会議所が行う「かさおか創業塾」に対し、運営費の一部を補助し、内容の充実した創業塾とさせる。								
平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度						
取組内容		インターネット、チラシによる受講者募集のPRを行う。 <受講者数: 26人>		⇒ <受講者数: 20人>		⇒ <受講者数: 22人>		⇒ <受講者数: 20人>				
直接 事業費	決算額	400	千円	決算額	400	千円	決算額	400	千円	決算額	400	千円
	うち 一般財源	30	千円	うち 一般財源	0	千円	うち 一般財源	400	千円	うち 一般財源	400	千円

## &lt;4.施策の直接事業費(3の合計)&gt;

平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度					
直接 事業費	30,407	千円	31,631	千円	33,433	千円	21,235	千円			
うち 一般財源	15,085	千円	20,560	千円	28,249	千円	11,640	千円			

## &lt;5.前年度の委員コメントに対する対応・回答&gt;

委員コメント	対応・回答
<p>・こんなお店をしたいと言った声を聞きます。起業支援、創業塾支援充実させ頑張っていたきたい。</p>	<p>事業開設支援に上限100万円、経営支援事業に上限50万円、雇用促進事業に25万円計175万円と他市にはない補助金制度により毎年、多くの方に利用していただいております。かさおか創業サロンをマルナカ1階に開設し、創業希望者から創業後の経営相談にもワンストップで相談に乗れるよう、金融機関の職員、商工会議所の職員、そして、岡山よろず支援拠点からも専門家に来ていただき、事業計画の作成、金融支援、販路開拓や財務のことなど幅広い相談に乗っています。起業にあたって商店街で起業したい方には空き店舗補助金も紹介するなど、ニーズに合った支援をさせていただいております。そうした各種支援制度のPRも積極的に進めていきたい。</p>

## &lt;6.平成30年度の振り返り&gt;(担当部署自己評価)

<p>施策の進捗度</p> <p>A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。</p>	<p><b>B</b></p>
--	-----------------

## &lt;7.未達成の指標への対応策&gt;

<p>未達成指標への対応策</p>	<p>・事業承継については、商工会議所と連携して事業所訪問を行い、聴き取り調査を行っており、親族間など補助対象にならないが、事業承継が行われている。今後も聴き取り調査を行い、補助金を活用した事業承継を行っていただけるよう訪問を継続して行いたい。</p> <p>・起業補助金については、景気の上向きと共に求人倍率が上昇しているため、起業意欲が停滞している中、起業相談があった場合は、創業サポートセンターにおいて、きめ細やかな指導・相談を行い、補助金申請についての支援も行っていく。また、専門的な分野での相談があった場合は、専門家につなげていき、起業がしやすい相談体制を整える。</p>
-------------------	---

## &lt;8.委員による評価結果&gt;

<p>総合評価</p> <p>A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。</p>	<p><b>B</b></p>	<p>(参考) 昨年度の評価結果</p>	<p><b>B</b></p>
<p>コメント</p>	<p>・総合指標と達成目標1の指標が未公開のため評価に上がらず難しい。起業支援、創業塾事業という生み出すことも大切だが継続できるかどうかも重要。自主性に任せるだけでなく丁寧なサポート体制も考慮していただけるとありがたいです。</p> <p>・笠岡駅周辺の商店街は、イベント等では市民を楽しませて頂いていますが、中心市街地の賑わいの面では、個々の事情によりまとめていくのは難しい時期にきたと思います。多方面から情報やアイデアなどの支援をお願いします。</p> <p>・市民が「笠岡市がサポートしてくれている」と実感できるような支援やアフターフォローになるように工夫して、取り込まれたい。</p> <p>・商店街活性化はなかなか進まないことが挙げられますが、今後も頑張っていたきたいと思っております。また指標が出ていないところがありますので、評価をつけることが難しかったように思います。</p> <p>・地元の商店で買い物をする事で、地域経済が潤うことは理解できるが、果たして商店街振興が本当に必要な施策であるのか疑問に思う。</p> <p>また、担当課からの未達成の指標への対応策のところに、「起業補助金については、景気の上向きと共に求人倍率が上昇しているため、起業意欲が停滞している」とあるが、創業塾支援事業等の施策やフォローアップが十分に機能していないのではないかと</p>		

## 令和元年度 施策評価シート

## &lt;1.施策の概要&gt;

施策 No.	1-4	施策名	水産業振興	担当課	農政水産課
戦略の柱	経営戦略 “稼ぐ”				
基本方針	海に臨む笠岡市の特色ある産業として水産業を振興するため、水産資源の増加、担い手の育成とともに、安くて新鮮な笠岡の水産物を広く提供するための取組を進めます。			関係課	

## &lt;2.総合指標&gt;

指標名			目標・実績の推移					
			H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 目標	R3 目標	R7 目標
漁獲量(海面漁業)	単位	目標			650	650	650	650
		実績	702	643	575	—	—	—
	t/年	達成率			88.5%	—	—	—
漁獲量(養殖漁業)	単位	目標			650	650	650	650
		実績	653	—	966	—	—	—
	t/年	達成率			148.6%	—	—	—
「水産業の振興」の満足度(市民意識調査)	単位	目標			△ 10.0	—	△ 8.5	△ 7.0
		実績	△ 11.6	—	△ 20.3	—	—	—
	%	達成率			49.3%	—	—	—

## &lt;3.施策を構成する事務事業の概要&gt;

【達成目標1】	水産資源の回復
---------	---------

## 達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移				
			H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 目標	R3 目標
漁獲量(海面漁業)	単位	目標			650	650	650
		実績	702	643	575	—	—
	t/年	達成率			88.5%	—	—
漁獲量(養殖漁業)	単位	目標			650	650	650
		実績	653	—	966	—	—
	t/年	達成率			148.6%	—	—

## 達成目標1の事業費

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
直接事業費	8,764	千円	7,005	千円	8,240	千円	8,840	千円
うち一般財源	5,095	千円	6,055	千円	5,843	千円	6,109	千円

1 水産業振興事業													
		事務事業の目的						事務事業の内容					
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
漁業者及び市民		漁家経営が安定及び維持できるよう事業実施を行い、漁業振興を図る。						<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業振興特別対策事業</li> <li>・海洋牧場管理運営に対する補助</li> <li>・漁業近代化資金に対する利子補給</li> <li>・漁船保険に対する補助</li> </ul>					
		平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度		
取組内容		<p>★○漁業振興特別対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・笠岡市漁協・真鍋島支所へ鮮度保持施設(製氷機)を更新設置</li> <li>・大島人工干潟におけるアサリ増殖調査事業</li> <li>・栽培漁業及び種苗放流事業</li> <li>・漁業者の研修会(第3回)実施(テーマ:鮮魚の扱いについて考える※漁業者自ら実践できる「魚の扱い」「鮮度保持」「品質管理」)</li> </ul> <p>・浜の活力再生プラン前年度評価,実施,及び中間報告</p> <p>・播種法を用いたアマモ場造成(市内2漁協による取組)とシンポジウムでの活動報告</p> <p>★○漁業近代化資金に対する利子補給</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸付決定 1件</li> <li>・件数 延べ2件</li> </ul> <p>○海洋牧場管理運営に対する補助</p> <p>★○漁船保険に対する補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・件数289件(徴収保険料の95%)</li> </ul>			<p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大島美の浜漁協へ鮮度保持施設(製氷機)を更新設置</li> <li>・大島人工干潟におけるアサリ増殖調査事業</li> <li>・栽培漁業及び種苗放流事業</li> <li>・漁業者の研修会実施(2回)(テーマ:①「おいしい水産物がとれる笠岡をまもる漁業者の研修会」,②「安全操業について」)</li> </ul> <p>・浜の活力再生プラン前年度評価,実施,及び中間報告</p> <p>・広域浜プランでの取組</p> <p>・播種法を用いたアマモ場造成(市内2漁協による取組)</p> <p>・美しく豊かな海づくりに関する協定の締結(H28.5.26)</p> <p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・件数 延べ3件</li> </ul> <p>⇒</p>			<p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・笠岡市漁協へ運搬施設(トラック)を設置</li> <li>・大島人工干潟におけるアサリ増殖調査事業</li> <li>・栽培漁業及び種苗放流事業</li> <li>・漁業者の研修会実施(テーマ:「漁業制度を学ぶ」)</li> </ul> <p>・浜の活力再生プラン前年度評価,実施,及び中間報告</p> <p>・広域浜プランでの取組</p> <p>・播種法を用いたアマモ場造成(市内2漁協による取組)</p> <p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸付決定 2件</li> <li>・件数 延べ4件</li> </ul> <p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・件数276件(徴収保険料の25%)</li> </ul>			<p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・笠岡市漁協へ鮮度保持施設(冷水機)を設置</li> <li>・大島人工干潟におけるアサリ増殖調査事業</li> <li>・栽培漁業及び種苗放流事業</li> <li>・漁業者の研修会実施(テーマ:「美しく豊かな海づくり」)</li> </ul> <p>・浜の活力再生プランの改訂,前年度評価,実施及び中間報告</p> <p>・広域浜プランでの取組</p> <p>・播種法を用いたアマモ場造成(市内2漁協による取組)</p> <p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸付決定 2件</li> <li>・件数 延べ4件</li> </ul> <p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・件数287件(徴収保険料の95%)</li> </ul>		
直接事業費		決算額	8,764	千円	決算額	7,005	千円	決算額	8,240	千円	決算額	8,840	千円
		うち一般財源	5,095	千円	うち一般財源	6,055	千円	うち一般財源	5,843	千円	うち一般財源	6,109	千円

## 【達成目標2】 漁業者の担い手・後継者の確保と育成

## 達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移				
			H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 目標	R3 目標
新規就業者数	単位	目標			2	2	2
	人/年	実績	3	3	3	—	—
		達成率			150.0%	—	—
漁業体験者数	単位	目標			150	150	150
	人/年	実績	153	137	131	—	—
		達成率			87.3%	—	—

## 達成目標2の事業費

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
直接 事業費	647	千円	340	千円	627	千円	650	千円
うち 一般財源	161	千円	0	千円	0	千円	23	千円

## 2 漁村整備・交流事業

事務事業の目的		事務事業の内容									
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)										
漁業者及び市民(主として小学生)	漁家経営が安定及び維持できるよう事業実施を行い、漁業振興を図る。 海辺の体験学習を通じて担い手を増やす取組を進める。	・海辺の体験学習									
	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度					
取組内容	★●海辺の体験学習 ・都市漁村等交流推進事業の実施 白石島親子ふれあい地引網 参加者 61人 大島海辺の教室(大島東小, 白石小, 北木小, 真鍋小, 六島小ほか) 参加者 80人 (共催事業) 瀬戸内の島で海の恵みを体験プログラム 各150人	⇒ ・都市漁村等交流推進事業の実施 大島海辺の教室(大島小5年生, 井原市立出部小5年生ほか) 参加者 153人 (参考:台風により中止 白石島親子ふれあい地引網 参加予定者 74人)		⇒ ・都市漁村等交流推進事業の実施 白石島親子ふれあい地引網 参加者 77人 大島海辺の教室(大島東小) 参加者 60人		⇒ ・都市漁村等交流推進事業の実施 白石島親子ふれあい地引網 参加者 53人 大島海辺の教室(北川小) 参加者 78人					
	決算額	647	千円	決算額	340	千円	決算額	627	千円	決算額	650
うち 一般財源	161	千円	うち 一般財源	0	千円	うち 一般財源	0	千円	うち 一般財源	23	千円

## 【達成目標3】新鮮な地魚の提供

## 達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移				
			H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 目標	R3 目標
直売所の販売額(道の駅・大島朝市・神外朝市)	単位	目標			60,000	60,000	61,000
	千円	実績 達成率	59,000	177,415	165,468 275.8%	—	—

## 達成目標3の事業費

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
直接事業費	675	千円	450	千円	300	千円	300	千円
うち一般財源	225	千円	150	千円	300	千円	300	千円

## 3 水産物流通促進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
漁業者及び市民	漁家経営が安定及び維持できるよう、また、新鮮な魚の提供、直販体制の充実を図る。 レシピ作成を支援し、新鮮な魚による料理の普及を図る。	・新鮮な魚の販売ルート開拓、直販体制の支援 ・レシピ作成への支援

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		
取組内容	★●販売ルート開拓、直販体制の支援 ・2漁協による直販体制及び魚まつり(瀬戸の市魚まつり)支援 ※かさおか鮮魚市かき祭りは、かき不作のため中止 ・笠岡市漁協荷さばき施設における笠岡諸島の漁獲物の取扱量の増加と販路拡大、活魚水槽送水用ポンプ設置、「朝市」を週1回継続開設と販売促進PRの取組支援 ・備後圏域の地魚のブランド化における広域連携推進のための協議・検討		⇒ ・2漁協による直販体制及び魚まつり(瀬戸の市魚まつり、かさおか鮮魚市かき祭り)支援 ・笠岡市漁協荷さばき施設における笠岡諸島の漁獲物の取扱量の増加と販路拡大、「朝市」を週1回継続開設と販売促進PRの取組支援		⇒ ・漁協による直販体制及び魚まつり(かさおか鮮魚市かき祭り)支援 ・笠岡市漁協荷さばき施設における笠岡諸島の漁獲物の取扱量の増加と販路拡大、「朝市」を週1回継続開設と販売促進PRの取組支援		⇒ ・漁協による直販体制及び魚まつり(かさおか鮮魚市かき祭り)支援 ・笠岡市漁協荷さばき施設における笠岡諸島の漁獲物の取扱量の増加と販路拡大、「朝市」を週1回継続開設と販売促進PRの取組支援 ※市漁協「朝市」は人員不足により休止中 ⇒		
	★●レシピ作成への支援 ・生活交流グループ協議会による魚食普及及び魚利活用メニューの検討・試作		⇒ ・製氷機の導入支援 ・漁協イベントの支援、備後フィッシュガイドブックの作成協力 ⇒ ⇒		⇒ ・販路拡大及び6次産業化の支援 ・漁協イベントの支援、備後フィッシュガイドブックの配布及びPR ⇒ ⇒		⇒ ・販路拡大及び6次産業化の支援 ・漁協イベントの支援、備後フィッシュガイドブックの配布及び「備後フィッシュの食べられる店」の登録店舗の拡大(14店舗)、備後フィッシュフェスへの出店 ⇒		
直接事業費	決算額	675	千円	決算額	450	千円	決算額	300	千円
	うち一般財源	225	千円	うち一般財源	150	千円	うち一般財源	300	千円

## &lt;4.施策の直接事業費(3の合計)&gt;

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
直接事業費	10,086	千円	7,795	千円	9,167	千円	9,790	千円
うち一般財源	5,481	千円	6,205	千円	6,143	千円	6,432	千円

## &lt;5.前年度の委員コメントに対する対応・回答&gt;

委員コメント	対応・回答
・天候不順や赤潮発生等で、漁獲高に影響があると思いますが「笠岡沖の魚は新鮮で美味しい」をPRし漁業者皆様への勢いをつけていただけることを期待しています。	→ ・備後圏域の沿岸4市(福山市、尾道市、福山市)で行っている備後の魚や備後の魚が食べられる店のPRなどを行い、新鮮で美味しい笠岡の魚知ってもらえるように様々なPR活動に努めます。

## &lt;6.平成30年度の振り返り&gt;(担当部署自己評価)

施策の進捗度 A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。	<b>B</b>
--	----------

## &lt;7.未達成の指標への対応策&gt;

未達成指標への対応策	<p>鮮度保持技術の向上等によって鮮魚の付加価値を高めるとともに、幅広い世代に地魚を知ってもらえるよう、備後フィッシュの食べられる店をPRするなど、笠岡産の魚の魅力をより強く発信していきたい。</p> <p>また、「美しく豊かな海づくりに関する協定」に基づき、アマモ場の再生活動や海ごみの回収、稚魚放流等を行い、水産資源の保護にも積極的に取り組んでいきたい。</p>
------------	---

## &lt;8.委員による評価結果&gt;

総合評価		(参考) 昨年度の評価結果	
A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。	<b>B</b>	<b>B</b>	
コメント	<p>・備後フィッシュの食べられるお店の登録数拡大など今後も期待しています。笠岡市でおいしいお魚が食べられることの観光客に知って貰えるチャンスですが、市民があまり知らないとロコミできないので笠岡の珍しいお土産も食べられ取り上げられますでしょうか。アマモ場再生活動の日本の聖地が岡山県(日生)にあり全国から毎年サミットで集まっていますが笠岡の状況に応じた継続的な再生活動もコラボができないか期待しています。一般財源からの事業費のためアマモ場再生活動、海ごみの回収、稚魚放流などの水産資源の保護に関心を持ってきている企業や市民や県内の若者団体に積極的なPRと連携に期待いたします。</p> <p>・一部の小学校で、アマモの種まきをしていますが、たくさんの子供たちに体験させて頂きたい</p> <p>・水産業を取り巻く環境は厳しいことと思いますが、新規就業者が目標を上回っており、非常に良い傾向にあるため、漁業者と連携し満足度が向上するよう、対策を講じられたい。</p> <p>・笠岡の魚は美味しいので、ブランドを上げていただきたいと思います。また漁業者の新規就業者数は3人で目標よりは多いのですが、全体では多くなっているのか少なくなっているのか知りたいと思います。</p> <p>・平成30年度の市民意識調査における「水産業の振興」の満足度が前回の△11.6%から△20.3%に大きく落ち込んでいる。びんご圏域での備後の魚を周知するイベントが行われているが、市民への周知が十分でないためではないかと思う。市の施策全般に言えることだが、もっと上手くPRする事が大切であると思う。</p>		

































































































































































































































































































































































